

FMV- STYLISTIC TB11/B
STYLISTIC TB11/S
STYLISTIC TB11/R

取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

本書をお読みにする前に	2
1. 必ずお読みください	16
添付品の確認	16
使用および保管に適さない場所	16
パソコン本体取り扱い上の注意	16
放熱について	16
パソコンを持ち運ぶときは	17
電源を入れる前に	17
電源を入れる	19
セットアップ	19
電源を切る	22
2. 必要に応じてお読みください	23
BIOS の設定をご購入時の状態に戻す	23
リカバリ概要	23
リカバリ操作	24
お問い合わせ先	26
リサイクルについて	27

FMVマニュアルについて

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティングなどの内容は、富士通パソコン情報サイトFMWORLD.NETのビジネス向けホームページ（<http://www.fmworld.net/biz/>）の『FMVマニュアル』に記載されています。

『FMVマニュアル』は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMVマニュアル」から参照してください。

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複製して、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 複製
 - 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
- 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 保証の範囲
 - 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
 - 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

保守修理サービスのご案内

弊社では、保守修理サービスとして、以下の「SupportDesk」を用意しております。
お客様のご希望、ご利用状況に合わせたサービスをお選びの上、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にお申し込みください。

■ Support Desk

ハード障害発生時の修理を行う「Product 基本／基本 24」に加え、お客様のご要望に応じて 2 つのオプションメニューをご用意しております。また、価格面でよりお得な「保証アップグレードバック」や「ビックアップ&デリバリ」もございます。

- ・ **Product 基本／基本 24**：オンサイト修理、情報提供
専用窓口をご用意し、障害発生時のスムーズな受付を行います。
受付は [基本]：月曜日～金曜日の 9:00～19:00（祝日、年末年始を除く）、[基本 24]：24 時間 365 日
受付後、専任スタッフがお客様先に訪問し、速やかに修理を行います。
障害対応履歴については、お客様専用ホームページにてご確認頂けます。
- ・ **PC ソフトサポート（オプション）**：ソフト QA 対応
パソコンのブレイクストールソフトウェアについて QA 対応を行います。
- ・ **PC 定期点検（オプション）**：定期点検
定期的に次のような予防保守を行います。
 - 点検、整備、摩耗部品交換（消耗品は対象外）
 - 清掃、調整等
- ・ **保証アップグレードバック**：オンサイト修理
保証期間分の割引価格をあらかじめ想定したお得な修理サービスのバック商品です。（各 3、4、5 年バック）
商品添付の「お客様登録票」を発送するだけで、すぐにサービススタートが可能です。
- ・ **ビックアップ&デリバリ**：引取修理
訪問型修理ではなく、お客様の修理依頼にもとづきパソコンの引取修理を行なうサービスです。
「Product 基本」よりも割安な価格設定を行っております。
9：00～16：00 受付 当社翌営業日 AM 中（9：00～12：00）に引取
16：00～19：00 受付 当社翌営業日 PM 中（12：00～21：00）に引取
引取後、4～6 営業日で修理・返却します。
ただし、障害の程度によってはそれ以上の期間を要することもあります。

マイクロソフト製品サービスバック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスバックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。
お客様は、最新のサービスバックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。
したがって、当社としては、最新のサービスバックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。
ただし、お客様の環境によっては、サービスバック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスバックの Readme.txt を必ずご確認ください。
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。
・ 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
・ 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・ 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。
なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

- ・本製品には、有寿命部品（LCD、HDD 等）が含まれています。
有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。

製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
（バッテリーパックや乾電池等の消耗品は、お客様ご自身で新品を購入し、交換していただきます。）

- ・本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

ワイヤレス LAN（無線 LAN）（IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠）について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠（5GHz 帯）では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（2.4GHz 帯）では見通し半径 25m 以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場もありますのであらかじめご了承ください。
- ・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・IEEE 802.11a 準拠（5GHz 帯）のワイヤレス LAN の屋外使用は、電波法により禁じられています。
- ・航空機内では使用しないでください。罰せられる場合があります。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



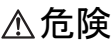


本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
また、バッテリー残量が不十分な場合、バッテリー未搭載で AC アダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。




警告表示について

■警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険があることを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

FMV-LIFEBOOK、FMV-STYLISTIC を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。

■パソコン本体の操作に関する注意事項

- 電源を入れて本製品が起動するまでは、むやみにキーボード、マウスやポインティングデバイスに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- BIOS セットアップは、必要な場合以外はむやみに設定を変更しないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- パスワードを設定する場合は、パスワードを書き留めて、安全な場所に保管してください。パスワードを忘れると、本製品は使用できなくなり、修理が必要となります。
- 各マニュアルをよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

■やさしく扱ってください



- ・電源が入った状態で持ち運ばないでください。



- ・自転車やバイクなどに載せて持ち運ばないでください。



- ・持ち運ぶ場合は、かばんなどに入れ、衝撃や振動を与えないでください。



- ・重い物をのせないでください。



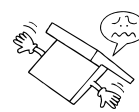
- ・パソコン本体やACアダプタを投げたり、落下させないでください。



- ・コーヒーなどの液体や、クリップなどの金属が入らないよう注意してください。



- ・ディスプレイを無理に大きく開けないでください (FMV-STYLISTICを除く)。



- ・ディスプレイを開けたまま、裏返して置かないでください (FMV-STYLISTICを除く)。



- ・パソコン本体を立てて置かないでください。バランスが崩れて倒れるおそれがあります。



- ・ディスプレイ、またはディスプレイの枠を持って、パソコン本体を持ち上げないでください (FMV-STYLISTICを除く)。



- ・ディスプレイをたいたり強く押ししたりしないでください。



- ・ACアダプタの抜き差しは、電源プラグを持って行ってください。



- ・コードを縫い足すなどの加工はしないでください。



- ・コードを無理に折ったり引っ張ったりしないでください。



- ・分解しないでください。



- ・ACアダプタのコードは、本体にきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。断線の原因となります。



- ・必ず一般の電源 (100V) をお使いください。
- ・濡れた手でACアダプタを扱わないでください。感電のおそれがあり、大変危険です。



- ・フロッピーディスクのラベルは重ねて貼らないでください。また、しっかりと貼ってからセットしてください。

■万一、異常が発生したとき

⚠ 警告



万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチを切り、その後必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



異物（金属片・液体など）がパソコン本体の内部に入った場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチを切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本製品を落としたり、カバーなどを破損した場合は、パソコン本体の電源スイッチを切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

■本体・周辺機器の取り扱いについて

⚠ 警告



自動車などを運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに止めてからお使いください。



AC アダプタは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。

また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。



濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



AC アダプタやコネクタの金属部分に手を触れないでください。

感電の原因となります。



ACアダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。



AC アダプタの電源ケーブルが傷んだときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



AC アダプタの電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。



本製品をお客様ご自身で分解・改造しないでください。

感電・火災の原因となります。



液晶ディスプレイに何も表示できないなどの故障状態では、本製品を使用しないでください。

故障の修理は「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



パソコン本体の各スロットやカバーは、バッテリー交換や周辺機器の取り付けなど、必要な場合を除いて取り外さないでください。

内部の点検、修理は「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所で本製品を使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で本製品を使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品に水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器や、「クリップ・ピン」などの金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。



開口部（各スロットなど）からパソコン本体内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が悪く誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



近くで雷が起きたときは、パソコン本体の電源スイッチを切り、その後 AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、モジュラーケーブルを電話回線の差し込み口から抜いてください。

そのまま使用すると、雷によっては本製品を破壊し、感電・火災の原因となります。

また、安全のため避雷器の設置をお勧めします。

ただし、避雷器の許容値を越えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても装置を保護できないことがありますので、ご了承ください。



周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電の原因となります。



周辺機器を接続する場合には、弊社純正品をお使いください。
弊社純正品以外の機器を使用すると、感電、火災または故障の原因となります。



バッテリーの交換などで、バッテリーパックの取り付けや取り外しを行う場合は、誤って落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。また、安全を考慮し、強い衝撃を与えたバッテリーパックは使用しないでください。
感電や火災、破裂の原因になります。

⚠ 注意



指定外の AC アダプタ、電源ケーブルは使用しないでください。
また、添付の AC アダプタ、電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
火災・けがの原因となることがあります。



AC アダプタは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。



AC アダプタの電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



本製品の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、パソコン本体内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



排気孔などをふさがないでください。
排気孔などをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



使用中のパソコン本体や AC アダプタなどは、布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。



本製品を移動する場合は、必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
AC アダプタの電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本製品を長期間使用しないときは、安全のため必ず AC アダプタをコンセントおよび本製品から抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる機種では、バッテリーパックも取り外してください。感電・火災の原因となることがあります。



液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



フロッピーディスクをセットするとき、および取り出すときには、ドライブの差し込み口に指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。



CD または DVD をセットするとき、および取り出すときには、トレイに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。



PC カードをセットするとき、および取り出すときには、PC カードスロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。



PC カードの使用終了直後は、PC カードが高温になっていることがあります。PC カードを取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。



バッテリーはショートさせたり、加熱したり、分解したり、落下などで衝撃を与えたり、火や水の中に入れたりしないでください。
バッテリーの破裂、液もれにより、火災・けが・周囲を汚す原因となることがあります。



本製品を長期間使用しない場合には、バッテリーパックを取り外しておいてください。バッテリーから液がもれることがあります。もし、バッテリーから液がもれた場合は、バッテリー取付け部に付いた液をよく拭き取ってから、新しいバッテリーパックを取り付けてください。また、もれた液が皮膚についたときは、水でよく洗い流してください。
火災・けが・周囲を汚す原因となることがあります。

■無線通信機能内蔵パソコンの取り扱いについて

⚠ 警告



病院内や医用電気機器のある場所では無線通信機能を OFF にしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
無線通信機能からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。
電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。

ペースメーカー誤作動



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能を OFF にしてください。
電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



航空機内では無線通信機能を OFF にしてください。
運航の安全に支障をきたすおそれがあります。



自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは使用しないでください。
無線通信機能からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



絶対に分解や修理・改造をしないでください。
内部に触ると感電の原因になります。



引火性ガスの発生する場所では無線通信機能を OFF にしてください。
爆発や火災の原因になります。

■乾電池について

⚠ 危険



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告



乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



乾電池を入れる場合、+（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意



長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。
万一液漏れした場合は、水に浸した布を硬く絞って金具、周囲を清掃し、その後、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。



電池から漏れた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。また目や口に入ったときは、水でよく洗い流した後、ただちに医師の診断を受けてください。



電池ボックスの端子をショートさせないでください。



寿命がなくなった乾電池はすぐに取り出してください。
放置すると、腐食により装置を傷めることがあります。



この電池は充電式には造られていません。

充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池に直接はんだ付けをしないでください。

熱により絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

■レーザーの安全性について

本製品に搭載されているCD/DVDドライブは、レーザーを使用しています。

クラス1レーザー製品

CD/DVDドライブは、クラス1レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter Jに準拠しています。また、クラス1レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC規格（EN 60825-1）および、JIS規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠ 注意



CD/DVDドライブをマニュアルに記載された説明や手順以外の方法で使用すると、レーザー放射の危険があります。また、CD/DVDドライブを開くと、危険なレーザーを浴びる可能性があります。ドライブを絶対に分解しないでください。

一部のCD/DVDドライブには、クラス3Aまたはクラス3Bのレーザー・ダイオードを使用しています。



CD/DVDドライブのカバーを開くとクラス3Aまたはクラス3Bのレーザーが放射されます。レーザー光線を見つめたり、光学機器を使って直接見たりしないでください。またレーザー放射を直接浴びないようにしてください。

■その他

⚠ 警告



梱包に使用しているビニール袋はお子様が入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。窒息の原因となります。



電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意



本製品を無理な姿勢で長時間使い続けると、腰痛や腱鞘炎の原因となることがあります。以下に示すような正しい姿勢で使用し、1時間に10分以上休憩をとってください。

いすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。

いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。

ひじは90度以上に伸ばして操作する。



目の障害

液晶ディスプレイを長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。1 時間に 10 分以上の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見る位置にする、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。



聴力障害

ヘッドホンなどをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



聴力障害

ヘッドホンなどをしたまま電源スイッチを入れたり切ったりしないでください。
刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



破 裂

本製品またはバッテリーパックを廃棄する場合は、他のゴミと一緒に捨てないでください。
本製品はリチウム電池を、またバッテリーパックはリチウムイオン電池またはニッケル水素電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。



故 障

本製品の操作に必要なない箇所を押したり、本製品に必要以上の力を加えたりしないでください。
誤動作の原因となることがあります。



発 火

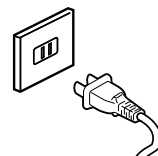
本製品は連続動作（24 時間動作）を目的に設計されておられません。安全のため、ご使用にならないときは電源を切ってください。
火災の原因となることがあります。

本書の表記

■電源プラグとコンセント形状の表記について



本パソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。



■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
      ↑  ↑
```

- ・↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

- ・DVD-ROM&CD-R/RW ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

例：[CD-ROMドライブ]:¥setup.exe

■操作方法の記載

お使いの機種により、マウスが添付されています。

本文中では、操作方法を「タップ」と表記しています。

マウスをお使いになる場合は、「タップ」を「クリック」と読み替えてください。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをタップし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をタップする操作



「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にタップします。

■BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「-」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。また、設定値を「:」（コロン）の後に記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「言語 (Language)」の項目を「日本語 (JP)」に設定します。



「メイン」-「言語 (Language)」: 日本語 (JP)

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■キーボード、フロッピーディスク、CD-ROM の使用について

本文中の操作手順において、キーボード、フロッピーディスク、または CD-ROM を使用することがあります。

キーボードやドッキングステーションが添付されていない機種をお使いの場合は、必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmwORLD.net/biz/>) 内にある FMV-STYLISTIC の「システム構成図」をご覧ください。

また、周辺機器の使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

なお、本書ではお使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記	
FMV-STYLISTIC TB11/B	TB/B	本パソコン／パソコン
FMV-STYLISTIC TB11/S	TB/S	
FMV-STYLISTIC TB11/R	TB/R	
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005	Windows XP	Windows

■お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2004 年 10 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください (→ P.26)。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmwORLD.net/biz/>) から行うことができます。

FMV マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、およびトラブルシューティングなどの内容は、富士通パソコン情報サイトFMWORLD.NETのビジネス向けホームページ（<http://www.fmworld.net/biz/>）内の『FMVマニュアル』に記載されています。

『FMVマニュアル』は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMVマニュアル」から参照してください。

『FMVマニュアル』をご覧になるには、インターネットに接続できる環境が必要です。

商標および著作権について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2004

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

1. 必ずお読みください

添付品の確認

『添付品一覧』をご覧になり、添付品をご確認ください。
足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、ご購入元にご連絡ください。

使用および保管に適さない場所

- 極端に高温または低温になる場所
- 直射日光の当たる場所
- 衝撃や振動の加わる場所
- 磁石や磁気ブレスレットなど磁気を発生するものの近く
- ほこりの多い場所
- 水など液体のかかる場所
- 湿度の高い場所
- 安定の悪い場所
- 発熱器具の近く
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所
- 周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所
- 結露する場所

POINT

- ▶ 本製品の使用環境は温度5～35℃／湿度20～80%RH（動作時）、温度-10～60℃／湿度20～80%RH（非動作時）です。
- ▶ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

パソコン本体取り扱い上の注意

- 衝撃や振動を与えないでください。
- 分解しないでください。
- 電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態でもかばんなどに入れて持ち運ばないでください。
- 排気孔はふさがらないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。本パソコンをご使用中に縦にしてかかえる場合などは、体で排気孔をふさがないようにご注意ください。
- 排気孔の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物が熱くなることがあります。
- 排気孔からは熱風が出ています。排気孔付近には手を触れないでください。

- 磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものを近づけないでください。保存しているデータが消えてしまうおそれがあります。
- ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。使用中、本パソコンの底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。
- 長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じる場合があります。これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、表面も温くなるためです。故障ではありません。
- 本パソコンでワイヤレスキーボードをお使いになる場合は、プラズマディスプレイやプラズマカラーテレビの側で使用しないでください。ワイヤレスキーボードが正常に動作しないことがあります。
- 本パソコンは、屋外、特に太陽光下で長時間使用しないでください。画面が見にくくなる場合があります。その場合は、太陽光が直接あたらない環境でお使いください。通常の状態に戻ります。これは故障ではありません。
- 液晶部分を拭くときは、必ずから拭きしてください。水や中性洗剤を使うと、液晶部分を傷めるおそれがあります。市販のクリーナーを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
 - ・ アルカリ性成分を含んだもの
 - ・ 界面活性剤を含んだもの
 - ・ アルコール成分を含んだもの
 - ・ シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・ 研磨剤を含むもの
 - ・ 化学ぞうきん

放熱について

- パソコン本体および AC アダプタは堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコンやACアダプタ表面が高温になることがあります。
- ほこりの多い環境では使用しないでください。ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。
- パソコン本体下面の吸気孔の表面にほこりがたまっている場合には取り除いてください。
- パソコンを長時間お使いになると熱く感じるがありますが、これは故障ではありません。

パソコンを持ち運ぶときは

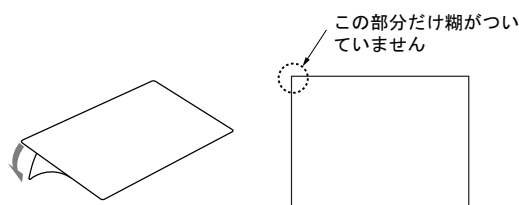
- 本パソコンの電源を切ってください。
- 接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。
接続したまま持ち運ぶとケーブルや本体のコネクタを破損するおそれがあります。
- かばんの中などに入れて携帯する場合は、衝撃や振動を与えないようにしてください。

電源を入れる前に

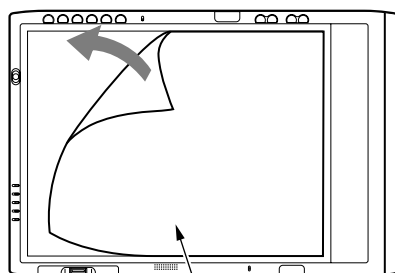
保護シートを取り付ける

保護シートを取り付けます。保護シートはディスプレイの保護のためのもので、取り付けなくてもパソコンの操作に影響はありません。

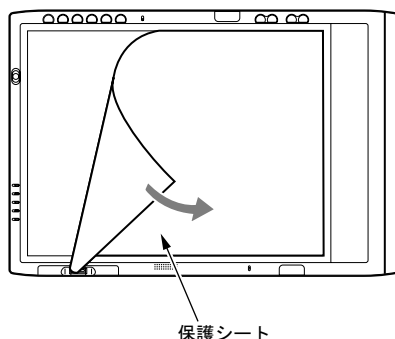
- 1 保護シートの糊のついていないコーナーが左上になるように持ち、裏側のフィルムをはがします。



- 2 保護シートの粘着面を下にして持ち、ディスプレイに保護シートを貼り付けます。



- 3 保護シートの表面の薄いフィルムをはがします。



POINT

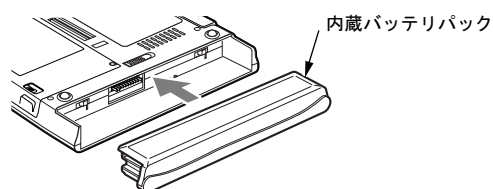
- ▶ 保護シートがはがれたり、紛失したりした場合は、次の製品をお買い求めください。
商品名: STYLISTIC 液晶保護フィルム II (TB/B、TB/S)
商品番号: 0635890
商品名: STYLISTIC 液晶保護フィルム II (TB/R)
商品番号: 0636390
(富士通コワーコ株式会社 お問い合わせ: 03-3342-5375)

内蔵バッテリーパックを取り付ける

⚠ 警告

- バッテリーパックの取り付けを行う場合は、パソコン本体の電源を必ず切りACアダプタを取り外してください。また、パソコン本体やバッテリーパックのコネクタに触れないでください。
感電や故障の原因となります。
- バッテリーは大変デリケートです。取り付け・取り外しを行う場合は、落下させるなどして、強い衝撃を与えないでください。また、安全を考慮し、強い衝撃を与えたバッテリーは、使用しないでください。
感電や破裂の原因となります。

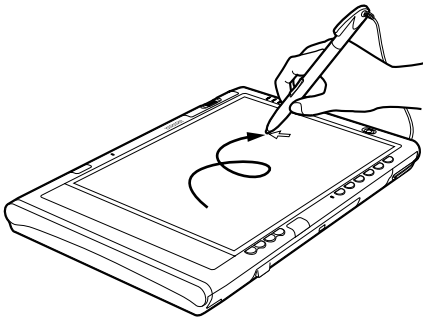
- 1 パソコン本体を裏返します。
- 2 内蔵バッテリーパックを取り付けます。



内蔵バッテリーパックをパソコン本体と水平に差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。バッテリーパックロックは自動的にロックされます。

タブレットについて

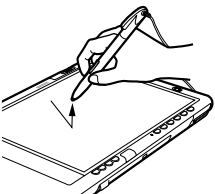
本パソコンは、画面上にペンを近づけたり、軽く押ししたりしてマウスポインタを操作します。



画面上でペンを移動させると、マウスポインタが移動します。

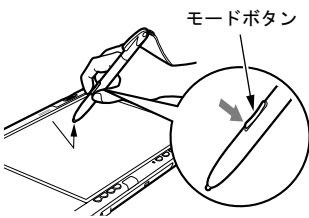
■タブレットの使い方

●タップ



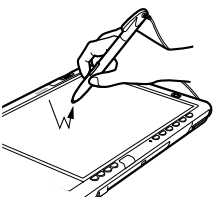
ペンで画面を1回押します。
マウスの左クリックと同様の操作です。

●右タップ



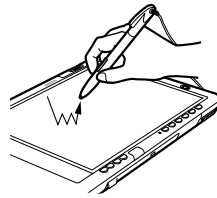
ペンのモードボタンの下側を押しながら画面をタップし、離します。また、ペンで画面を長押しして「マウス」アイコンが表示されてから、ペンを離しても右タップになります。マウスの右クリックと同様の操作です。

●ダブルタップ



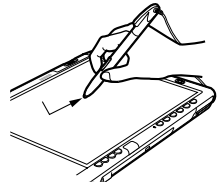
ペンで画面を素早く2回連続して押します。
マウスのダブルクリックと同様の操作です。

●トリプルタップ



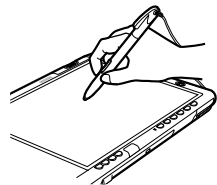
ペンで画面を素早く3回連続して押します。

●ドラッグ



画面に軽く押し付けながらずり動かします。

●ポイント



ペン先を画面に近づけたり、軽く触れます。

POINT

- ▶ ペンをお使いになる場合は、力をいれて画面をなぞる必要はありません。画面に近づけるだけでマウスポインタを操作できます。
- ▶ 必ず添付のペンで操作してください。指先やボールペンなどでは操作できません。
- ▶ ペンを破損したり紛失した場合は、次の製品をお求めください。

商品名：STYLISTIC スタイラスペン

商品番号：0635092

（富士通コワーコ株式会社 お問い合わせ：03-3342-5375）

- ▶ ペン先を交換することができます。交換方法については、『FMVマニュアル』（→P.15）の「ハードウェア」－「ポインティングデバイスについて」をご覧ください。

電源を入れる

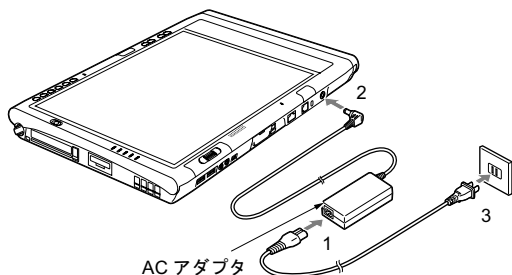
注意事項

- ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器（ワイヤレスキーボードとドッキングステーションを除く）の取り付けなどは行わないでください。
- 電源を入れてから、持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。
- AC アダプタなど磁界を発生する機器と FDD ユニットの離して使用してください。
- 電源を入れても画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
 - ・状態表示 LED の電源ランプ（①）を確認してください。点灯している場合は、タッチパネルに触れてください。点滅している場合は、電源ボタンを押して動作状態にしてください（4 秒以上押し続けしないでください。パソコンの電源が切れてしまいます）。消灯している場合は、電源を入れてください。
 - ・バッテリー運用している場合は、状態表示 LED のバッテリー残量ランプを確認してください。本パソコンご購入時やバッテリーが充電されていない場合は、AC アダプタを接続してください。

電源の入れ方

1 AC アダプタを接続します。

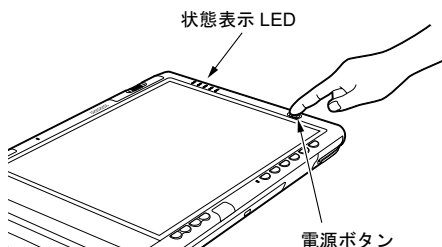
AC アダプタに AC ケーブルを接続し (1)、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します (2)。その後、プラグをコンセントに接続します (3)。



2 電源ボタンを押します。

パソコン本体に電源が入り、POST（自己診断画面）が始まります。また、状態表示 LED の ① などが点灯します。

ご購入後、初めて電源を入れると、Windows のセットアップ画面が表示されます。その場合は、「セットアップ」(→ P.19) をご覧になり、操作を続けてください。



重要

- ▶ 電源ボタンは 4 秒以上押さないでください。電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

POINT

- ▶ POST とは、Power On Self Test（パワーオンセルフテスト）の略で、パソコン内部に異常がないか調べる自己診断テストです。本パソコンの電源が入ると自動的に行われ、テスト終了後に OS が起動します。
- ▶ POST 中に電源を切ると、自己診断テストが異常終了したと診断されます。本パソコンでは、自己診断テストの異常終了回数をカウントしており、3 回続いた場合、4 回目の起動時にエラーメッセージを表示します。POST 中は、不用意に電源を切らないでください。

セットアップ

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定（Windows セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

留意事項

- Windows セットアップを行う前は、次の点にご注意ください。
 - ・周辺機器（ワイヤレスキーボードとドッキングステーションを除く）を取り付けしないでください。
 - ・LAN ケーブルを接続しないでください。
- Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。
- セットアップ中は、画面上にソフトキーボードが表示されています。操作に応じてソフトキーボードの位置を移動してください。

- Windowsセットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを操作すると、Windows セットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、キーまたはペンで操作してください。
- セットアップ中は、不用意に電源を切らないでください。

Windows XP セットアップ

- 1 ACアダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます (→P.19)。しばらくすると、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます。
- 2 「次へ」をタップします。
「使用許諾契約」が表示されます。
「使用許諾契約書」は、本パソコンにあらかじめインストールされているWindowsを使用するうえでの契約を記述したものです。
- 3 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をタップし、「次へ」をタップします。
「コンピュータを保護してください」と表示されます。

POINT

- ▶ 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をタップした後、メッセージに従って操作してください。
- 4 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をタップし、「次へ」をタップします。
「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。
 - 5 「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をタップします。
「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。

POINT

- ▶ 「コンピュータの説明」は省略できます。
また、コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することもできます。
- 6 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をタップします。
「このコンピュータをドメインに参加させますか？」と表示されます。

POINT

- ▶ パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- ▶ 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。
- ▶ 「設定が完了しました」と表示された場合は、手順 10 へ進んでください。

- 7 「いいえ ...」をタップし、「次へ」をタップします。
「インターネット接続を確認しています」と表示されます。しばらくすると、「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されます。

POINT

- ▶ 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。

- 8 「省略」をタップします。
「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されます。
- 9 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をタップし、「次へ」をタップします。
「設定が完了しました」と表示されます。
- 10 「完了」をタップします。
本パソコンの再起動後、パスワードの入力画面が表示されます。
- 11 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「→」をタップします。

POINT

- ▶ 「ネットワーク設定」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をタップしてください。
- ▶ 画面下の通知領域に警告が表示されたら、「必ず実行してください」を実行後、ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策を最新の状態にしてください。
- ▶ 「Tablet PC へようこそ」が表示された場合は、「閉じる」ボタンをクリックしてください。セットアップ終了後にあらためてご覧になることができます。

- 12 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をタップします。
「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

- 13 「実行する」をタップします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。
- ▶ 再起動メッセージが表示されるまでの間は、ソフトウェアキーボードやタッチパネルを操作しないでください。

14 「OK」をタップします。

本パソコンが再起動します。

重要

- ▶ 「復元ポイントの作成」を行う場合は、「必ず実行してください」を実行後、再起動してから行ってください。

POINT

- ▶ 再起動後、「Tablet PC へようこそ」が表示されます。本パソコンをお使いになる前に、一度ご覧になることをお勧めします。

これで、Windows セットアップが完了しました。

この後は、「セットアップ後」(→ P.21) をご覧になり、必要な操作を行ってください。

セットアップ後

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、次の操作を行ってください。

●セキュリティ対策

ウイルス対策や不正アクセスに関する対策など、お使いのパソコンについてのセキュリティ対策は、システム管理者の指示に従い、お客様自身が責任をもって行ってください。初めてインターネットに接続する場合は、LAN やモデムなどに接続してインターネットを始める前に、次のセキュリティ対策を行ってください。

1. ネットワーク管理者に確認し、LANなどの設定を行います。
2. LAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。
3. 「Windows Update」を実行し、Windowsをより安全な状態に更新します。
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックし、必要な更新をインストールします。
4. ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策のデータファイルを最新にします。ウイルス対策ソフト「AntiVirus」については、『FMVマニュアル』(→ P.15) の「トラブルシューティング」－「トラブルに備えて」－「コンピュータウイルス対策」をご覧ください。

実行にあたっては、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

なお、『FMVマニュアル』(→P.15) をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LANまたはモデムの設定を行ってください。

また、必要に応じて、次の操作を行ってください。

- ワイヤレスLANをお使いになる場合は、『FMVマニュアル』(→P.15) 内の『ワイヤレスLANをお使いになる方へ (IEEE 802.11a準拠、IEEE 802.11g準拠)』をご覧ください、必要な設定を行ってください。
- スマートカードをお使いになる場合は、添付の「ドライバズディスク」からソフトウェア「SMARTACCESS/BASE」をインストールしてください。ソフトウェアのインストール方法については、『FMVマニュアル』(→P.15) の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。
- 必要に応じて、ソフトウェアの追加や削除を行うことができます。ソフトウェアについては、『FMVマニュアル』(→ P.15) の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。

その他の設定については『FMVマニュアル』(→P.15) をご覧ください。

セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

□Windows セットアップが進められなくなった

- 「電源を切る」(→ P.22) をご覧になり、本パソコンの電源を一度切った後でセットアップをやり直してください。

タブレットの調整

次の手順に従って、添付のペンでタッチ位置を調整してください。

■調整方法

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にタップします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「プリンタとその他のハードウェア」をタップします。
「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウが表示されます。
- 3 「タブレットとペンの設定」をタップします。
「タブレットとペンの設定」ウィンドウが表示されます。
- 4 「設定」タブの「調整」をタップします。
画面に調整ポイント(十字型)が表示されます。
- 5 画面の「+」マークの交点をペンでタップします。
「+」マークが移動し、次の調整ポイントが表示されます。
- 6 手順 5 と同様に、「+」マークを順番にタップします。
合計 4ヶ所をタップします。

POINT

- ▶ 調整するときは、ペンを「+」マークに正確に合わせ、てタップしてください。

7 「OK」をタップします。

「タブレットとペンの設定」ウィンドウに戻ります。

8 「OK」をタップします。

9 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの「閉じる」ボタンをタップします。

■留意事項

- 「+」マークの交点より外側をタップしてペンの調整を行った場合などに、ペンでタップした位置とマウスポインタの位置のずれが生じる場合があります。ペンでタップした位置とマウスポインタの位置のずれが大きいと、画面の端をタップをする場合にマウスポインタが表示されない場合があります。

その場合は、再度手順1～9を実行して、タブレットの調整を行ってください。調整するときは、「+」マークの交点より、画面の中央に向かって少し内側をタップしてください。

また、タスクバーの設定を「自動的に隠す」にしている場合は、「スタート」ボタンが表示できない場合があります。次の手順で補正を行ってください。

1. パソコン本体の「Fn ボタン」を2回押します。
「富士通メニュー」が表示されます。
2. 「タブレットとペンの設定」をタップします。
「タブレットとペンの設定」ウィンドウが表示されます。

以降、「調整方法」の手順4～9を実行してください。調整するときは、「+」マークの交点より、画面の中央に向かって少し内側をタップしてください。

電源を切る

注意事項

- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10秒以上待ってから電源を入れてください。
- 本パソコンの電源を切る場合は、接続している周辺機器から、あらかじめCDやフロッピーディスクなどを取り出してください。

電源の切り方

「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にタップします。

OSが終了し、本パソコンの電源が切れます。また、状態表示LEDの電源ランプ（→P.19）が消えます。



POINT

- ▶ 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。

1. 「セキュリティボタン」を2秒以上押します。
「タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
「セキュリティボタン」については、『FMV マニュアル』（→P.15）の「各部名称」－「タブレットボタンについて」をご覧ください。
2. 動かなくなったプログラムを選択し、「タスクの終了」をタップします。
3. 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウを閉じます。
4. 電源ボタンを4秒以上押して、電源を切ってください。

- ▶ 通常の操作で表示される画面で、「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。再起動とは、メモリに入っている情報をいったん消して、再びフロッピーディスクやハードディスクなどからOSを読み込み直すことです。

- ▶ 通常の操作で表示される画面で、「スタンバイ」を選択すると、本パソコンが省電力状態になります（→『FMV マニュアル』）。

- ▶ このあと、本パソコンを長期間使用しない場合は、ACアダプタやバッテリーパックを取り外してください。

2. 必要に応じてお読みください

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、「セキュリティボタン」を押すか、または画面の適当な場所をタップし、ショートカットメニューから「Launch System Setup」をタップすると、BIOS セットアップが起動します。BIOS の設定値をご購入時の状態に戻すには、「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行したあと、設定を保存して BIOS セットアップを終了してください。

リカバリ概要

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、またはハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要と手順

■概要

リカバリとは、「リカバリディスク」を使用して、OS、ドライブなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。

「リカバリディスク」では、次の方法でリカバリを実行できます。

- Cドライブのみご購入時の状態に戻す（推奨）
ハードディスクの領域は現在お使いの状態のまま、Cドライブのみご購入時の状態に戻します。Dドライブ以降は、変更されません。
この方法でリカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- 領域を設定した後、Cドライブをご購入時の状態に戻す
ハードディスクの領域を設定した後、Cドライブの内容をご購入時の状態に戻します。Dドライブはフォーマットされます。
この方法でリカバリを行うと、ハードディスク内のデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
領域の設定には、次の方法があります。
 - ・領域を任意に設定して戻す
領域を任意に設定した後、Cドライブの内容をご購入時の状態に戻し、Dドライブをフォーマットします。
領域は、100MB 単位で2区画まで作成できます。

- ・領域をご購入時の設定にして戻す
ハードディスクの領域とCドライブの内容をご購入時の状態に戻し、Dドライブをフォーマットします。

■手順

リカバリは次の手順で行います。

- 1 リカバリ前の準備（→P.24）
- 2 リカバリ方法（→P.24）
- 3 リカバリ終了後（→P.25）

留意事項

- リカバリ時には、必ずACアダプタを接続してください。
- リカバリを行う場合は、あらかじめキーボードとドッキングステーションを用意する必要があります。
お使いの機種によっては、キーボードとドッキングステーションは添付されておりません。別売のキーボードとドッキングステーションをご購入ください。
- リカバリを行う場合は、必ずドッキングステーションを取り付けて、画面の向きを横にして行ってください。
- キーボードとドッキングステーション以外の周辺機器（メモリを除く）を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- リカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて失われます。また、「領域を設定した後、Cドライブをご購入時の状態に戻す」を選択した場合は、Dドライブ以降のデータもすべて失われます。必要に応じて事前にバックアップしておいてください。
- 「Cドライブのみご購入時の状態に戻す（推奨）」を選択した場合は、Cドライブ以外のドライブは変更されません。
- リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- 本書ではキーボードでの操作を前提に記述してあります。
- Windows 起動中に「リカバリディスク」をセットすると、「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されます。「キャンセル」をタップしてください。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕を持って、操作を実行してください。

リカバリ操作

本パソコンのCドライブをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の方法を説明します。

POINT

- ▶ リカバリに関する留意事項(→ P.23)をよくお読みのうえ、リカバリを行ってください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の操作を行ってください。

■ ドッキングステーションとキーボードの準備

- 1 本パソコンにドッキングステーションを接続し、画面の向きを横にします。
ドッキングステーションの接続については、『FMV マニュアル』の「ハードウェア」－「ドッキングステーションについて」をご覧ください。
- 2 キーボードを準備します。
 - ワイヤレスキーボードをお使いの場合
ワイヤレスキーボードの送信部とパソコン本体の受信部が、真正面に向きあうように配置します。

POINT

- ▶ ワイヤレスキーボードは、プラズマディスプレイやプラズマカラーテレビの側で使用しないでください。正常に動作しないことがあります。

■ USB キーボードをお使いの場合

USB キーボードのコネクタを、USB コネクタに接続します。このとき、コネクタの向きを確かめて、まっすぐ接続してください。
キーボードについては、『FMV マニュアル』の「ハードウェア」－「キーボードについて」をご覧ください。

■ BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の状態に戻します(→ P.23)。

POINT

- ▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

リカバリ方法

次のものを用意してください。

- 「リカバリディスク 1、2、3」

- 1 本パソコンを起動します。
- 2 「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、パソコン本体の「E-mailボタン」、またはキーボードの【F12】キーを押します。
「起動メニュー」が表示されます。

POINT

- ▶ 「起動メニュー」が表示されない場合は、本パソコンの電源を切り(→ P.22)、手順 1 からやり直してください。

- 3 ドッキングステーションのDVD-ROM&CD-R/RW ドライブに「リカバリディスク1」をセットします。
- 4 「オプティカルメディアドライブ」を選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリメニュー」画面が表示されます。

POINT

- ▶ 「リカバリメニュー」が表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動してください。

- 5 「リカバリ」を選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリディスク」画面が表示されます。
- 6 【Pg Up】【Pg Dn】キー(【Fn】+【↑】【↓】キー)(USB キーボードをお使いの場合は【Page Up】【Page Down】キー)で説明をスクロールし、内容を確認して、【Y】キーを押します。
- 7 リカバリ方法により、次のどちらかの操作を行います。
 - 「Cドライブのみご購入時の状態に戻す(推奨)」を選択し、【Enter】キーを押します。
確認の画面が表示されます。手順9に進んでください。

重要

- ▶ Cドライブのデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

- 「領域を設定した後、Cドライブをご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
次のメニューが表示されます。次の手順に進んでください。

重要

- ▶ ハードディスク内のデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

8 領域の設定方法により、次のどちらかの操作を行います。

- 「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
Cドライブの容量を任意に設定してください。【←】【→】キーを押すと、100MB単位で、領域を設定できます。
ハードディスク全体をCドライブとして設定したい場合は、【P】キーを押します。
領域を設定したら、【Enter】キーを押します。
- 「領域をご購入時の設定にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

重要

- ▶ 現在の領域設定を変更しない場合や、ご購入時から領域の設定を変更していない場合も、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

9 【Y】キーを押します。

しばらくすると「復元しています...」というメッセージが表示され、ファイルのコピーが始まります。
「n枚目のメディアをドライブZ:に入れてください。」と表示されたら、「リカバリディスクn」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。「リカバリディスク」は、画面に表示されたものを、セットしてください。
リカバリが終了すると、「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

10 CD-ROMを取り出してから、電源ボタンを4秒以上押して、電源を切ります。

11 以降、「リカバリ終了後」(→ P.25)を参照して操作を行ってください。

リカバリ終了後

本パソコンの電源を切った後、次の操作を行ってください。

- 1** ワイヤレスキーボードとドッキングステーション以外の周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します。
- 2** 本パソコンの電源を入れます。
- 3** 以降、「セットアップ」(→ P.19)を参照してWindowsのセットアップを行ってください。

以上でリカバリ操作は終了です。

お客様が実行したセキュリティ対策や各種設定内容は、実行前の状態に戻っています。セットアップ後、Windows Updateなどのセキュリティ対策を行ってください。また、必要に応じて、ドライバやアプリケーションのインストールや設定などを行ってください。詳しくは、「セットアップ後」(→ P.21)をご覧ください。

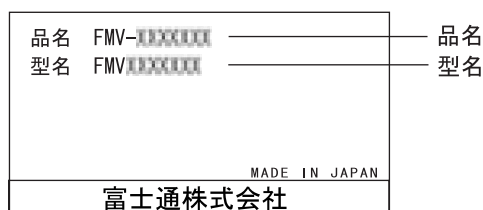
お問い合わせ先

■お問い合わせの前に

あらかじめ次の項目について確認してください。

□品名／型名の確認

パソコン本体のラベルに記載されています。



□リカバリディスクの用意

本パソコンの修理を依頼する場合は、必ずリカバリディスクを添付してください。

■部品送付による修理の場合

良品部品をお届け後、窓口よりお届けの確認と不良部品の引取日程などについてご連絡をいれさせていただきます。

あらかじめご了承ください。

■連絡先

下記の連絡先へお問い合わせください。

こんなときには	こちらへ
・ 添付品の不備	ご購入元にご相談ください。
・ 故障かなと思われるとき	<p>富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NETのビジネス向けホームページ (http://www.fmworld.net/biz/) 内の『FMVマニュアル』に記載されている「トラブルシューティング」をご覧ください。</p> <p>注『FMVマニュアル』は、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMVマニュアル」からご覧いただけます。</p> <p>それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、または「富士通ハードウェア修理相談センター」^{注1}にお問い合わせください。</p>
<p>・ FM シリーズの技術的なご質問・ご相談</p> <p>・ 本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ</p>	<p>・ 富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NETのビジネス向けホームページ (http://www.fmworld.net/biz/) 内の『FMVマニュアル』をご覧ください。</p> <p>・ ソフトウェアのお問い合わせにつきましては、『FMVマニュアル』の「トラブルシューティング」→「お問い合わせ先」をご覧ください。</p> <p>それでも不明な点がございましたら、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」^{注2}にお問い合わせください。</p>

注1：「富士通ハードウェア修理相談センター」

- ・ フリーダイヤル：0120-422-297
- ・ 受付時間：9:00 ～ 17:00
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

注2：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・ フリーダイヤル：0120-950-222
- ・ 受付時間：9:00 ～ 17:00
(土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く)

- ・ おかけ間違いのないよう、ご注意ください
- ・ 両窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

●法人・企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社では、「富士通りサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

詳しくは、ホームページ（<http://eco.fujitsu.com/jp/>）の「富士通りサイクルシステム」をご覧ください。

●個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通りサイクル受付センター」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申し込みください。

受付窓口の電話番号、お申込み方法などについてはAzbyClub ホームページ（<http://azby.fimworld.net/recycle/>）をご覧ください。

■使用済バッテリーの取り扱いについて

- ・リチウムイオン電池およびニッケル水素電池のバッテリーパック、バッテリーユニットは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- ・使用済みバッテリーはショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- ・バッテリーを火中に投げると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

バッテリーの仕様については、『FMV マニュアル』の「技術情報」－「仕様一覧」、またはバッテリーの取扱説明書をご覧ください。

●法人・企業のお客様へ

使用済バッテリーを廃棄する場合は、富士通株式会社環境本部（電話：044-754-3411）にお問い合わせください。

●個人のお客様へ

使用済バッテリーは、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従って廃棄するか、または「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の販売店などに設置してあるリサイクルBOXに入れてください。

詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページ（<http://www.JBRC.com/>）をご参照ください。

弊社はJBRC（小型二次電池再資源化推進センター）に加盟し、リサイクルを実施しています。



Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。



Ni-MH

このマークは、ニッケル水素電池のリサイクルマークです。

■使用済乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボードなどには乾電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。

使用済乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人・企業のお客様へ

使用済乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

●個人のお客様へ

使用済乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

FMV-STYLISTIC TB11/B、
FMV-STYLISTIC TB11/S、
FMV-STYLISTIC TB11/R

取扱説明書
B6FH-3881-01-00

発行日 2004 年 10 月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。



本製品はJEITA「PCグリーンラベル制度」の
審査基準(2004年度版)を満たしています。
詳細は、Webサイト <http://www.jeita.or.jp>
をご覧ください。

このマニュアルはリサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収・リサイクルに出してください。



* B 6 F H 3 8 8 1 0 1 *